

平成24年1月4日
気象庁予報部

配信資料に関する技術情報(気象編)第353号 ～指定河川洪水予報の改善について～

(平成12年8月11日 配信資料に関する技術情報(気象編)第69号、
平成18年12月1日 配信資料に関する技術情報(気象編)第241号及び
平成19年8月9日 配信資料に関する技術情報(気象編)第265号関連)

気象庁は、洪水により重大な災害が生ずるおそれのある河川に対し、国土交通省または都道府県と共同して「指定河川洪水予報」を行っています。

国土交通省と気象庁は、よりわかりやすく利用しやすい指定河川洪水予報を行うため、情報の内容等についての検討を行い、下記のとおり指定河川洪水予報電文の改善を行うこととしましたのでお知らせします。

記

1. 国土交通省と共同で行う指定河川洪水予報の変更点

国土交通省と共同で行う指定河川洪水予報について、予報文の様式の改善にあわせて、以下の通り配信プロダクトを変更します。

(1) PDF形式の洪水予報文の配信開始

これまで文章形式(かな漢字電文)で提供していた洪水予報文について、重要な情報が即座に読み取れるよう、表形式を採用するなどして視認性を高め、かつ情報量をコンパクトにします(別紙1)。この新しい洪水予報文は、PDF形式により、次のファイル名称で提供します。

洪水予報文(PDF形式)のファイル名称

`Z_J_CCCC_yyyyMMddhhmmss_MET_INF_Jkouzui_RR#####_RK##_T##_NJ###@@@_image.pdf`

冒頭のZの次は、2つの_ (アンダースコア)が続く
斜体は可変部

CCCC : 発信官署略号(英字)
yyyyMMddhhmmss : 年月日時分秒
RR##### : 河川番号(10桁)
RK## : 河川区分番号(2桁)
T## : 配信先識別(XML電文のiiに同じ)
NJ###@@@ : ###は情報番号、
@@@は訂正・訓練フラグ(通常:n00、訂正:c01, c02, …、訓練:s00)

(2) XML電文の内容の改善

XML電文(VXKOii (ii=50-69))については、これまで内容部(Body部)を省略した簡略形式で提供してきましたが、所要の準備が整ったことから、内容部(Body部)を含めた形式¹での提供を開始します(別紙2)。内容部(Body部)に関連し今回追加となるコード表「WaterLevelStationコード表(水位観測所)」及び「RiverOfficeコード表(河川事務所)」については、下記URLに掲載していますので、そちらをご参照ください。

気象庁防災情報XMLフォーマット情報提供ページ

<http://xml.kishou.go.jp/index.html>

(3) かな漢字電文、CREX電文について

かな漢字電文(カセソクス¹I1)及びCREX電文(KFRC40)については、当面の間配信を継続し(電文のフォーマットにも変更はありません)、今後ある程度の期間をおいて配信を終了する予定です。

(4) 参考図の配信終了

参考図²については、今回の改善にあわせて配信を終了します。

2. 都道府県と共同で行う指定河川洪水予報の変更点

都道府県と共同で行う指定河川洪水予報(以下、都道府県洪水予報という)についても、平成25年度末までを目途に国土交通省と共同で行う指定河川洪水予報と同様の改善を実施できるよう、現在準備を進めています。

都道府県洪水予報の改善は、準備の整った都道府県から実施する予定ですが、これに先立ち、今回、1.の国土交通省と共同で行う指定河川洪水予報と同形式のプロダクト(PDF形式)の提供を開始するなど、以下の通り配信プロダクトを変更します。

(1) PDF形式の洪水予報文の配信開始

かな漢字電文の内容をそのままPDF形式にしたものを、1(1)に示したものと同一ファイル名称で配信します。

なお今後、都道府県洪水予報の改善にあわせて「表形式等を用いた新しい洪水予報文」に移行し、洪水予報の発表の際に参考図を添付する場合は、このPDF形式の洪水予報文に参考図も含めて1つのファイルとして配信する予定です。

(2) 参考図、XML電文、かな漢字電文について

参考図³、XML電文(VXKOii (ii=70-89))、かな漢字電文(フケソクス¹Iii (ii=01-20))については、今回は変更ありません。

なお、都道府県洪水予報の改善の際には、参考図については、配信を終了する予定で

¹ 障害時等はBody部の一部または全部を省略することがあります。

² ファイル名称 Z_C_CCCC_yyyyMMddhhmmss.MET_INF_RR#####RK##_Jkkouzui_image.pdf

³ ファイル名称 Z_C_CCCC_yyyyMMddhhmmss.MET_INF_RR#####RK##_Jfkouzui_image.pdf

す。XML電文については、「内容部(Body部)を含むXML電文」に移行する予定です。かな漢字電文については、都道府県洪水予報の改善の後、ある程度の期間をおいて配信を終了する予定です。

3. 今後のスケジュール

(1) 今回の改善の実施時期

平成24年3月を目途

(日程は決まり次第お知らせします。なお、事前に配信試験を実施する予定です。)

(2) 今後のスケジュール

別紙3のとおり。

〇〇川 はん濫警戒情報

〇〇川洪水予報第〇号
洪水警戒報
平成××年×月×日××時××分
〇〇河川事務所・〇〇地方気象台 共同発表

(見出し)

〇〇川では、避難判断水位(レベル3)に到達 水位はさらに上昇

(主文)

〇〇川の〇〇〇水位観測所(〇〇県〇〇市〇〇)では、××日××時××分頃に、避難判断水位(レベル3)に到達。水位はさらに上昇する見込みです。川沿いの〇〇市、〇〇町のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでははん濫のおそれがありますので、市町村からの避難情報に注意してください。

はん濫による浸水が想定される地区※		
〇〇〇水位観測所	〇〇県〇〇市	〇地区、〇〇地区、□□地区、△地区

※はん濫による浸水が想定される地区については、一定の条件下に基づく計算結果での推定です。気象条件や堤防の決壊の状況によっては、この地区以外でもはん濫による浸水がおこる可能性があります。

(雨量)

ところにより1時間に50ミリの雨が降っています。今後もこの雨は降り続く見込みです。

流域	〇日〇時～〇日〇時までの流域平均雨量	〇日〇時～〇日〇時までの流域平均雨量の見込み
〇〇川流域	〇〇〇ミリ	〇〇ミリ

(水位)

〇〇川の〇〇〇水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	日時	水位(m)	水位危険度レベル			
			レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
			水防団待機	はん濫注意	避難判断	はん濫危険
〇〇〇水位観測所 (〇〇県〇〇市〇〇)	〇〇日〇〇時の状況	143.0↑				
	〇〇日〇1時の予測	144.8				
	〇〇日〇2時の予測	145.0				
	〇〇日〇3時の予測	144.8				

水位のグラフは各水位間を按分したものです。レベル4については、はん濫危険水位と計画高水位を按分しており、はん濫危険水位=計画高水位の場合は最大になります。

(参考資料)

観測所名	〇〇〇水位観測所 〇〇県〇〇市		
レベル4 はん濫危険水位※	4.40m		
レベル3 避難判断水位※	4.10m		
レベル2 はん濫注意水位	2.85m		
レベル1 水防団待機水位	2.10m		
受け持ち区間	左岸 〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市		
	右岸 〇〇県〇〇市から 〇〇県〇〇市		
はん濫が発生した場合の浸水想定区域	〇〇県〇〇市〇〇地区、 〇〇県〇〇市〇〇地区、 〇〇県〇〇市□□地区		

※避難判断水位、はん濫危険水位:水位観測所受け持ち区間内の第1位危険個所の避難判断水位・はん濫危険水位を水位観測所に換算した水位です。

(前頁から続き)

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5	はん濫の発生以降	はん濫水への警戒を求める段階
レベル4	はん濫危険水位からはん濫発生まで	いつはん濫してもおかしくない状態 避難していない住民への対応を求める段階
レベル3	避難判断水位からはん濫危険水位まで	避難の必要も含めてはん濫に対する警戒を 求める段階
レベル2	はん濫注意水位から避難判断水位まで	はん濫の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位からはん濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報	パソコンから	携帯電話から
	http://www.river.go.jp/	http://l.river.go.jp/

問い合わせ先

水位関係:国土交通省 ○○河川事務所 ○○○課 電話000-0000-0000(内線)000

雨量関係:気象庁 ○○地方気象台 ○○課 電話000-0000-0000(内線)000

別紙2 改善後のXML電文のイメージ

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<Report xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/" xmlns:jmx="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/">
<Control>
  <Title>指定河川洪水予報</Title>
  <DateTime>2011-02-08T03:30:00Z</DateTime>
  <Status>通常</Status>
  <EditorialOffice>和歌山地方気象台</EditorialOffice>
  <PublishingOffice>和歌山河川国道事務所 和歌山地方気象台 奈良地方気象台</PublishingOffice>
</Control>
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>紀の川はん濫警戒情報</Title>
  <ReportDateTime>2011-02-08T12:30:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2011-02-08T12:30:00+09:00</TargetDateTime>
  <EventID>860602000100</EventID>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial>2</Serial>
  <InfoKind>指定河川洪水予報</InfoKind> <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>
  <Headline>
    <Text>紀の川では、避難判断水位(レベル3)に到達 水位はさらに上昇</Text>
    <Information type="指定河川洪水予報(予報区域)"> <Item>
      <Kind>
        <Name>はん濫警戒情報</Name> <Code>30</Code>
        <Condition>洪水警報(発表)</Condition>
      </Kind>
      <Areas codeType="指定河川洪水予報(予報区域)"> <Area>
        <Name>紀の川</Name> <Code>860602000100</Code>
      </Area> </Areas>
    </Item> </Information>
    <Information type="指定河川洪水予報(河川)"> <中略> </Information>
    <Information type="指定河川洪水予報(府県予報区等)"> <中略> </Information>
  </Headline>
</Head>
<Body xmlns=http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/
  xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/">
<Notice>この電文は試験配信です。</Notice>
<Warning type="指定河川洪水予報">
  <Item>
    <Kind> <Property>
      <Type>主文</Type>
      <Text>紀の川の五條(奈良県五條市新町)では、8日12時00分頃に、避難判断水位(レベル3)
        に到達。水位はさらに上昇する見込みです。川沿いの〇〇市、〇〇町でははん濫のおそれか
        ありますので、市町村からの避難情報に注意して下さい。</Text>
    </Property> </Kind>
    <中略>
    <Stations> <Station>
      <Name>五條</Name> <Code type="水位観測所">86060200010000013</Code>
      <Location>奈良県五條市新町</Location>
    </Station> </Stations>
  </Item>
  <中略>

```

改善後は、Body 部も記述

ただし障害時等は Body 部の一部
または全部を省略することがある。

(前頁から続き)

```
<Item>
  <Kind> <Name>浸水想定地区</Name> <Code>1</Code> <Status>対象地域</Status> <Property>
    <Type>浸水想定地区</Type> <Text>はん濫による浸水が想定される地区 </Text>
  </Property> </Kind>
  <Areas>
    <Area codeType="水位観測所">
      <Name>五條</Name> <Code>86060200010000013</Code>
      <Prefecture>  県</Prefecture> <PrefectureCode>99000</PrefectureCode>
      <City>  市</City> <CityCode>9900100</CityCode>
      <SubCityList>  地区 〇〇地区 〇〇地区</SubCityList>
    </Area>
    < 中略 >
  </Areas>
</Item>
</Warning>
```

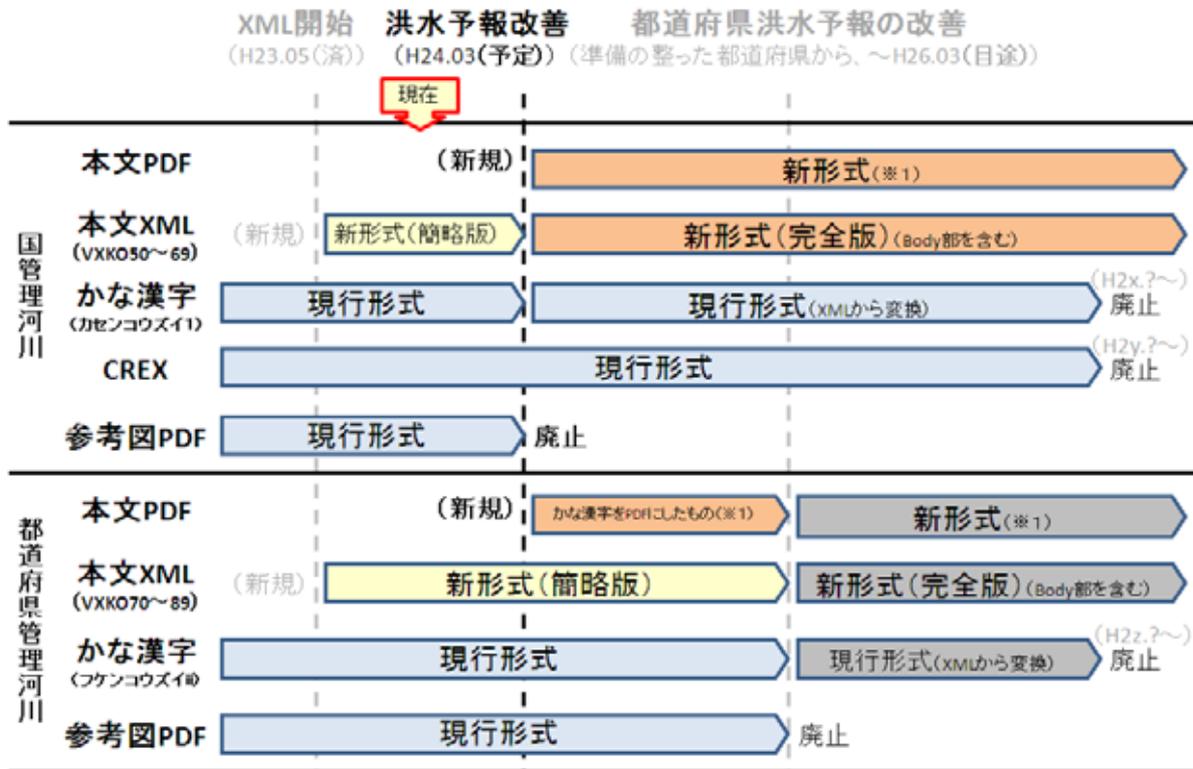
```
<MeteorologicalInfos type="雨量情報">
  <MeteorologicalInfo> <DateTime>2011-02-08T12:00:00+09:00</DateTime>
  <Item> <Kind> <Name>雨量</Name> <Property> <Type>雨量</Type>
    <Text>所により1時間に50ミリの雨が降っています。この雨は今後次第に弱まるでしょう。 </Text>
  </Property> </Kind> </Item>
</MeteorologicalInfo>
<TimeSeriesInfo>
  <TimeDefines> <TimeDefine timelD="1">
    <DateTime>2011-02-07T00:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT36H</Duration>
    <Name>7日0時00分から8日12時00分までの流域平均雨量</Name>
  </TimeDefine> <TimeDefine timelD="2">
    <DateTime>2011-02-08T12:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT3H</Duration>
    <Name>8日12時00分から8日15時00分までの流域平均雨量の見込み</Name>
  </TimeDefine> </TimeDefines>
  <Item> <Kind> <Name>雨量</Name> <Property> <Type>雨量</Type> <PrecipitationPart>
    <jmx_eb:Precipitation type="流域平均雨量" unit="ミリ" refID="1">126</jmx_eb:Precipitation>
    <jmx_eb:Precipitation type="流域平均雨量" unit="ミリ" refID="2">6</jmx_eb:Precipitation>
  </PrecipitationPart> </Property> </Kind> <Area> <Name>船戸流域</Name> </Area> </Item>
</TimeSeriesInfo>
  < 中略 >
</MeteorologicalInfos>
```

```
<MeteorologicalInfos type="水位・流量情報">
  <TimeSeriesInfo>
    <TimeDefines> < 中略 > </TimeDefines>
  <Item>
    <Kind> <Name>水位</Name> <Property> <Type>水位</Type> <WaterLevelPart>
      <jmx_eb:WaterLevel type="水位" unit="m" refID="1" condition="上昇">7.90</jmx_eb:WaterLevel>
      <jmx_eb:WaterLevel type="レベル" refID="1">3</jmx_eb:WaterLevel> < 中略 >
    </WaterLevelPart> </Property> </Kind>
    <Station>
      <Name>五條</Name> <Code type="水位観測所">86060200010000013</Code>
      <Location>奈良県五條市新町</Location>
    </Station>
  </Item>
  < 中略 >
```

(前頁から続き)

```
</TimeSeriesInfo>  
</MeteorologicalInfos>  
-----  
<OfficeInfo> <中略> </OfficeInfo>  
<AdditionalInfo> <中略> </AdditionalInfo>  
-----  
</Body>  
</Report>
```

別紙3 今後のスケジュール



1 本文 PDF のファイル名は国管理河川と都道府県管理河川で区別はなく同一である。また、都道府県洪水予報の改善の際の新形式移行にあっても、ファイル名に変更はない。